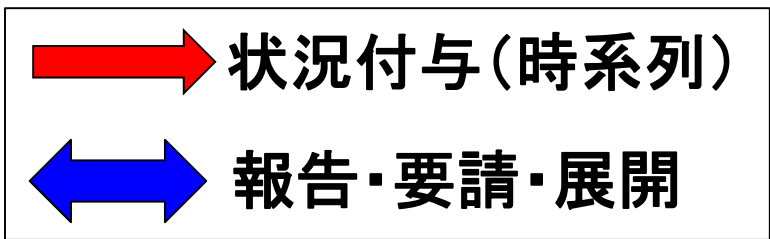
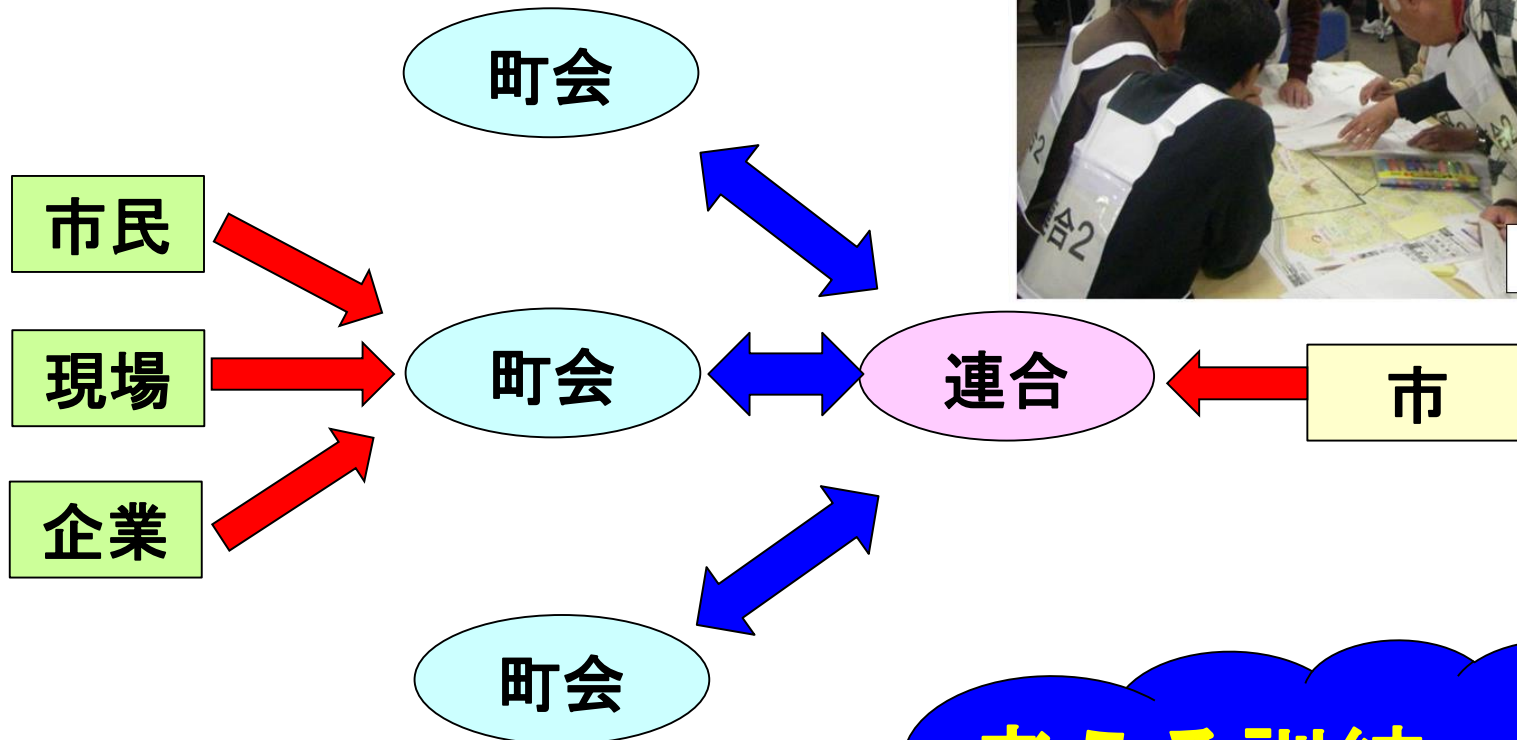


連合町会の図上訓練

～考えるシミュレーション訓練～

1. 訓練・会場のイメージ
2. 状況設定
3. 訓練内容

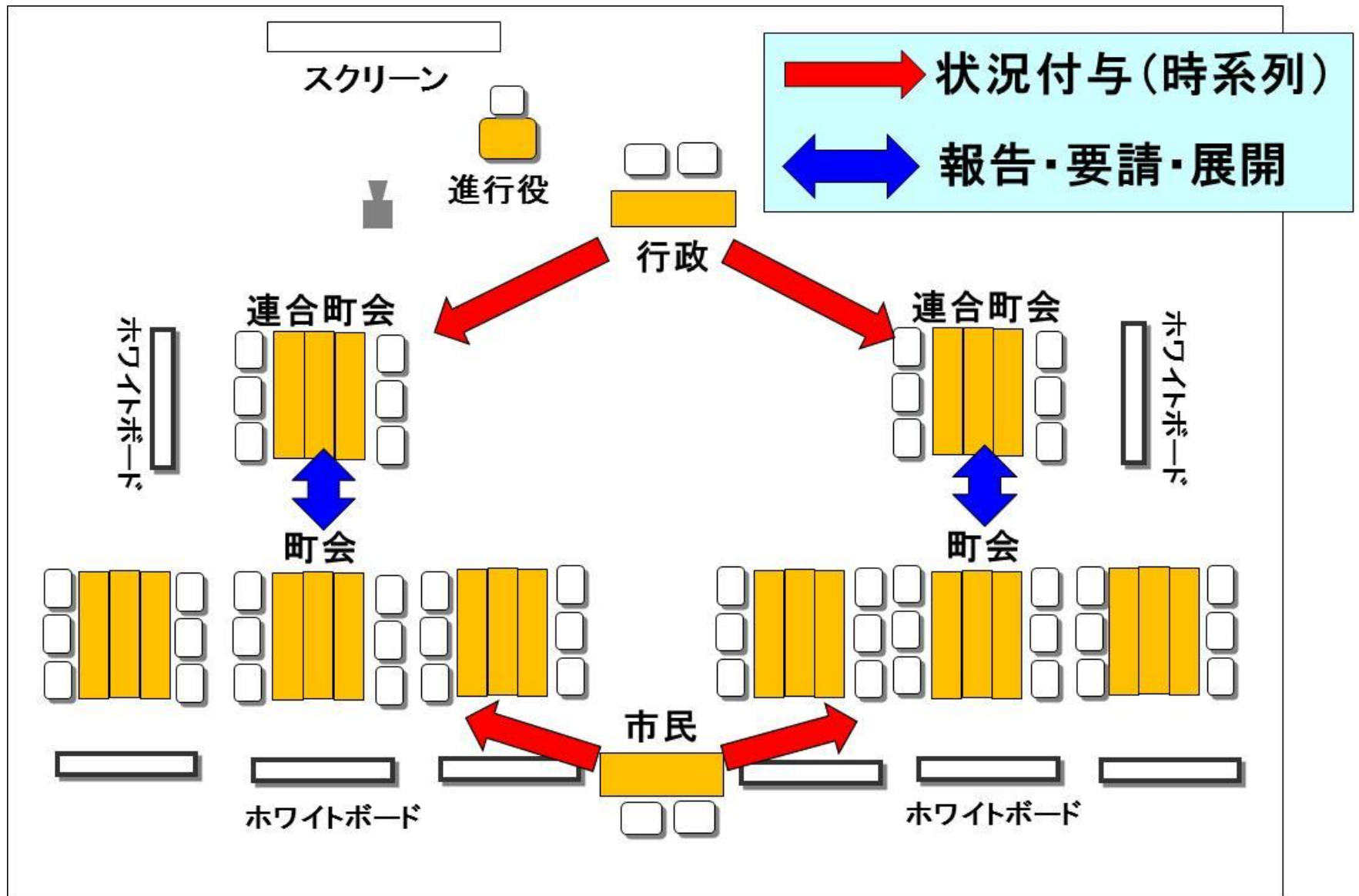
訓練・会場イメージ 1/2



考える訓練

- ・課題が見つかる
- ・改善点が見つかる

訓練・会場イメージ 2/2



応 用 (地域の訓練)

1. 訓練・会場のイメージ
2. 状況設定
3. 訓練内容

状況設定

冬の15:00

- ・強烈な揺れ(震度6強か?)
- ・途中で停電

津波の心配はないものとして。

10分後の皆さんは？

6強の揺れとは

震度6強～とは
ONHKの放送局の内部

自宅を想像してください

- ・宿直の記者が映っています。
- ・地震に見舞われた時の状況をご理解ください。
 - ・家具の転倒
 - ・停電によるものです。

6強の被害と消防力(相場観では・・)

標準的な消防・救急搬送力

人口1000人あたり1人

1万人あたりでは

署員10名(2交代とすると5人)

→消防車1台

人口	10,000	人
世帯数	4,000	世帯
木造棟数	3,000	棟
全壊	900	棟
倒壊	90	棟
生埋め	90	人
重傷者	45	人
⇒死者	15	人
出火件数	6	件

6強の住宅地では

住宅地で何が起きているのか？

～被災者の心～

監修：東京大学社会情報研究所 廣井修教授(故人)

15:10の状況説明

地震発生から10分

- ・市民 : 初期消火、救出活動に着手
- ・町会 : 幹部数名が集合
- ・避難拠点 : 幹部数名が集合
- ・市役所 : 初動対応と本部立ち上げ
- ・避難所従事職員 : 出動準備中

ラジオ放送から

- ・震源は・・・(直下型)
- ・マグニチュードは7.2
- ・各地の震度は・・・
県内に6強が分布
- ・津波の心配はない

皆さんの地域の
被害はどの程度？

町会の被害予想


木造棟数		棟
全壊		棟
倒壊		棟
生埋め		人
出火件数		件

マンションでも閉じ込め、負傷者も

被害概況

- ・古い木造住宅に大きな被害→生埋め、出火
 - ・新しい戸建ては被害軽微、非木造も被害軽微
 - ・ブロック塀も大半が倒壊
 - ・電柱が傾き、電線が垂れ下がっている。
-
- ・停電
 - ・断水
 - ・電話は輻輳
-
- ・液状化により道路に被害(地盤の低い道路は通行が困難)

15:10の状況のまとめ

時刻	15:10
発信	気象庁発表
受信	市役所or連合町会or町会
手段	ラジオなど
情報	<ul style="list-style-type: none">・震源は・・・・マグニチュードは・・・・各地の震度は・・・・津波の心配はない。
検討事項 決定事項	 <ul style="list-style-type: none">・どんなことが考えられるか？・どんなことを行うか？
伝達先	

15:10の状況のまとめ

時刻	15:10
発信	気象庁発表
受信	市役所
手段	ラジオなど
情報	<ul style="list-style-type: none">・震源は・・・・マグニチュードは・・・・各地の震度は・・・・津波の心配はない。
検討事項 決定事項	災害対策本部の立ち上げ 非常時体制の宣言 県への連絡 各連合町会へ通知
伝達先	連合町会へ

➡ 終了したら
ホワイトボードへ

・どこに連絡？

連絡票の例(市本部→連合町会)

時刻	15:15
発信	市役所
受信	連合町会
手段	MCA無線
情報	災害対策本部を立ち上げた 市内の震度は6強 救出、初期消火活動をお願いしたい 15:30に第1報(概略)がほしい。
検討事項 決定事項	
伝達先	

複数の場合は
複写シートを
用いて下さい。

連絡票→あらたな状況付与

時刻	15:15
発信	市役所
受信	連合町会
手段	MCA無線
情報	災害対策本部を立ち上げた 市内の震度は6強 救出、初期消火活動をお願いしたい 15:30に第1報(概略)がほしい。
検討事項 決定事項	
伝達先	

→ 終了したら
ホワイトボードへ

応 用 (地域の訓練)

1. 訓練・会場のイメージ
2. 状況設定
3. 訓練内容

15:20の状況説明

15:20

市民→A町会

- ・出火があるも初期消火完了
- ・5ヶ所で生埋め者。救出の手が足りない

市民→B町会

- ・▲▲で火災発生、消火活動苦戦中。

市民→C町会

- ・出火なし
- ・生埋め者1名の救出完了。搬送先病院は？

市民(難病者家族)→市役所へ

- ・停電・断水で生命が危険、助けて！

どうする？

補足説明

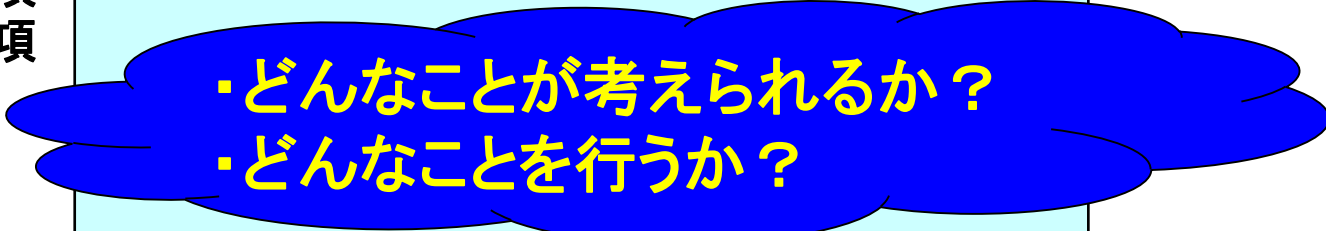

町会への対応

- ・対応に困っている地域への応援に誰が行くのか？
- ・町会と連合の連携が大切

市本部

- ・在宅難病者は市内に何人？
- ・避難先は？ 病院？
- ・だれがどうやって搬送？
- ・地震が起きてから考えるのであれば対応できない。

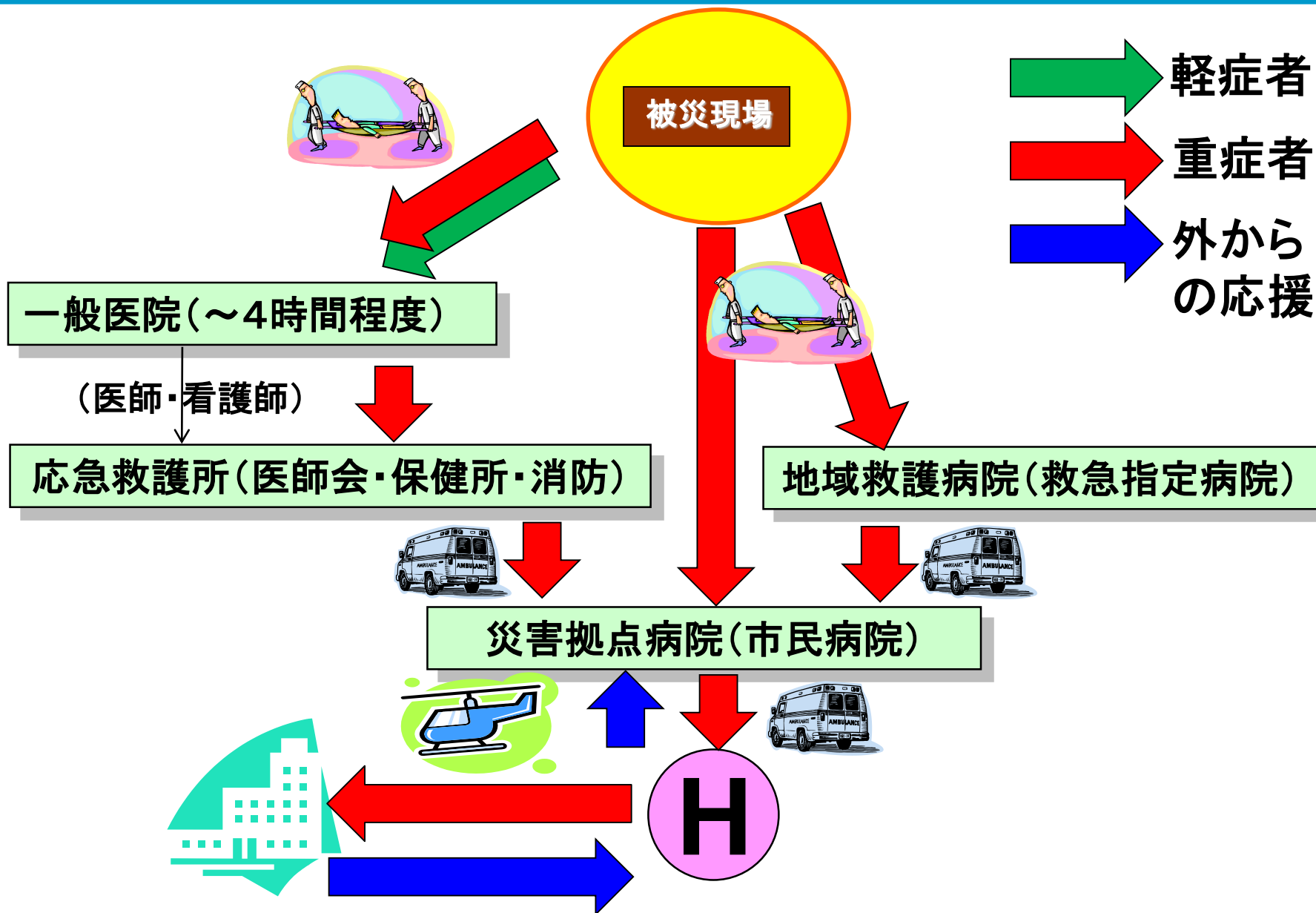
15:20の状況のまとめ

時刻	15:20
発信	市民
受信	
手段	駆け込み
情報
検討事項 決定事項	 <ul style="list-style-type: none">・どんなことが考えられるか？・どんなことを行うか？
伝達先	 <ul style="list-style-type: none">・どこに連絡？

連絡票

時刻	〇〇:〇〇
発信
受信	
手段
情報
検討事項 決定事項	
伝達先	

参考：市の災害時の医療救護計画



16:00の状況説明

16:00

- ・避難所に市民が殺到している。
 - ・定員オーバー？
 - ・高齢者も多い
 - ・若い人も多い
 - ・家は大丈夫だが、停電・断水で来た人もいる
 - ・ペット同伴も多い
 - ・家を失った方は未だ来ていないようだ

- ・何人ぐらいが予想される？
- ・受け入れスペースは？

予想される避難者(全壊率を30%とすると)

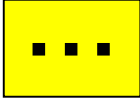
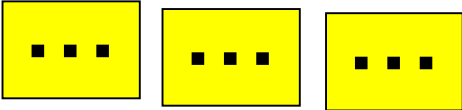
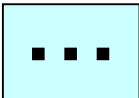
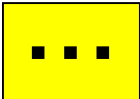
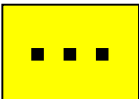
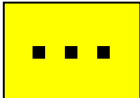
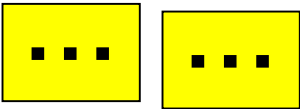
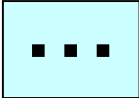
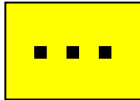
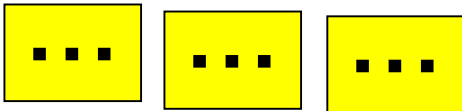
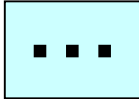
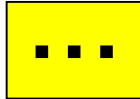
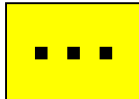
	人口(人)	全壊(人)
A町会	800	240
B町会	1,400	420
C町会	1,200	360
計	3,400	1,020

- ・半壊の方も？
- ・停電・断水で？
- ・マンションのかたも？

- ・早い者勝ち？
- ・要援護者は？
- ・ペットは？



避難者受け入れ前に決めておきたいことは？

課題	決定事項	備考
		
		
		
		
		

連絡票

時刻	●●:●●
発信
受信	
手段
情報
検討事項 決定事項	
伝達先	

翌日の7:00の状況説明

7:00

市役所→連合町会(避難拠点本部)

- ・10:00に飲食料を届ける
- ・必要量は?
- ・その他、必要な物の希望は?

- ・収容避難者＋在宅被災者
- ・早い者勝ち?それとも?

町会の役割は

個人・家族（班） ↔ 町会 ↔ 避難施設

①スペース配分

- ・基本は町会ごとにスペースを事前に決めておく
- ・避難施設運営の班は原則として町会単位

②飲食糧のニーズ

- ・家族（避難者・在宅者） → 町会 → 避難施設 → 市

③飲食糧の配布

- ・家族（避難者・在宅者） ← 町会 ← 避難施設 ← 市

※ボランティアのニーズと調整も同様

④広報誌の配布

- ・家族（避難者・在宅者） ← 町会 ← 避難施設 ← 市

翌日の10:00の状況説明

10:00

避難所の市民→連合町会(避難拠点本部)

- ・体調不良の高齢者が多数
- ・支援者が足りない、スペースも足りない、物もない

- ・要援護者は何人？
- ・受け入れスペースは？
- ・支援者は足りる？
- ・必要なものは何か？